受験番号

二〇一九年度　賢明学院高等学校　国語　模範解答

【一】

問一
a 助長
b 専門
c 没頭
d 希薄（稀薄）
e 比較

問二
A オ
B イ
C カ
D キ
E ウ

問三
生のあじわいの深度を深める言葉を、地道に自分のものにしていくこと。

問四
I ア
II エ

問五
ウ

問六
ウ
エ
（順不同）

問七
エ

【二】

問一
a ②
b ①
c ①
d ③

問二
スルメで釣ればいいのに……

問三
単刀直入

問四
イ

問五
イ

問六
太郎が田舎にいたことがある
太郎の心をときほぐす鍵が、田舎での生活にあると考えたから。
という事実

問七
太郎の心をときほぐす鍵が、田舎での生活にあると考えたから。

問八
ウ

【三】

問一
ア

問二
エ

問三
③
もとのように
⑤
いわく、
こと。

問四
ウ

問五
夫婦の仲が元には戻らないこと。

問六
ウ

問七
ア

問八
ア

【四】

問一
a ウ
b イ
c ア

問二
d HR教室
e グラウンド
f 軍手

問三
ア

問四
①
ウ
②
ウ

問五
①
ウ
②
エ
③
ア

【五】

問一
① なごり
② すいこう
③ 西欧
④ 円滑
⑤ 優越

問二
① 将
② 原（起）
③ 親
④ 必

問三
ウ